



# 横浜市立恩田小学校

## 学校だより 12月号

発行 平成30年 11月30日



だれもが、安心して 豊かに

### 「夢をもって努力すること」

校長 古屋 澄人

11月14日(水)4年生から6年生を対象とした「オリンピック・パラリンピアンによる学校訪問」が行われました。講師はパラリンピアン河合 純一さんでした。河合さんは、静岡県出身のパラ水泳選手です。ロンドンパラリンピックを含め過去6回のパラリンピックに出場し、視覚障がいクラスで金メダル5個、銀・銅と合わせて全部で21個のメダルを獲得しています。現在は、日本パラリンピアンズ協会の会長としてご活躍されています。

講演のテーマは「夢をもって努力すること」でした。河合さんは、ケーキ屋さんになることやプロ野球の選手になることなど、幼いころからもっていた夢をいくつか披露されました。その中で教師になることと水泳で世界一になることを夢として持ち続けていました。河合さんは、学生のころから水泳に打ち込み、勉強をしながら水泳選手で世界一になるために努力を積み重ねたということでした。アトランタパラリンピックで金メダルをとり、そして、中学校の社会科教師になる夢も実現することができました。

視覚に障がいがあるゆえの水泳の練習方法の工夫や日頃の生活についての工夫もお話していただきました。水泳の練習では、きめられたコースで何回腕を動かせばゴールにたどり着くことができるかを常に意識して取り組み、また、ライバルに負けたくないという気持ちで練習に臨んだそうです。

河合さんの講演の中で、もし、金メダルを取れた時は「世界一幸せな男になれたとを感じるだろう」と予想していたそうですが、実際に金メダルを取った時は、「家族・友人・コーチから助けられ多くの方から支えられてきたという感謝の気持ちをもったこと。スポーツは、人と人とをつなぐことができる、一人ではできないことが、みんながいるからできると感じた。」と語っていたことが印象に残りました。そして、子どもたちへ次のメッセージを伝えて講演会が終わりました。



金メダルを手にする河合純一さん

夢をもつことが大事。見つけていない人、見つけよう！もち続けることが大事。途中でかわってもいい。夢があったら今やるべきことがみえてくる。

本校では、子どもたちに育てたい力として「協働性」を大切にして教育活動を推進しています。一人ではできないことも友達と協働しながら取り組むことで実現できることがたくさんあります。試行錯誤しながら仲間と共に協働しながら課題解決に向けて取り組み、実現できた喜びや達成感を是非とも味わっていただけるようにしたいと思います。